令和6年度(2024年度) 第3回政策会議の概要

令和6年度(2024年度)第3回政策会議の主な内容は以下のとおりです。

番号	案件名	内 容	議論の要旨及び主な意見	審議結果	部局名
1	誰もが賑わい憩える歩行空間の創出	誰もが気軽に外出し、快適に移動ができ、みんなが憩える空間を 創出することを目的として、歩行空間にベンチの整備・駅前広場に パークレットを整備するとともに歩道の余剰スペースを活用したイ ベント実施を提案するもの。	(議論の要旨) ・「誰もが賑わい憩える歩行空間」の具体的なイメージについて ・公民連携による「誰もが賑わい憩える歩行空間」づくりについて (主な意見) ・歩道にペンチやパークレットを整備するだけでなく、公園やオープンスペース、民間スペースを含めた歩行空間全体の魅力向上、機能向上を図る観点から関係部局と連携して総合的に取組みを進めること ・企業、地域、市民など多様な主体と連携しながら、空間整備・運営を進めること	主な意見を踏まえながら、提案の趣旨に 沿って、取り組みを進めること。	都市基盤部 基盤保全課 基盤整備課
2	乗合タクシー「MinaNotte(みなのって)」の対象地域の 拡大と利便性向上について	移動が困難な地域においても気軽にでかけられる公共交通を実現するため、乗合タクシー「MinaNotte(みなのって)」の対象地域の拡大と利便性向上について提案するもの。	(議論の要旨) ・対象地域拡大の考え方について (主な意見) ・乗合タクシー「MinaNotte(みなのって)」について、子育て世帯や高齢者など多世代が広く使える公共交通として幅広 く周知を行い、取組みを進めること ・交通支援検討地域における乗合タクシー導入の選定基準を整理し、計画に定めること	主な意見を踏まえながら、提案の趣旨に 沿って、取り組みを進めること。	都市基盤部 交通政策課
3		庄内よつば学園開校するにあたり、令和8年度よりスクールバス導入を提案するもの。 スクールバスを一部の地域に導入することによって、庄内よつば学園に通学する全児童の通学時間を30分以内にし、誰一人取り残さない庄内地域の魅力ある学校づくり事業の実現を図る。	(議論の要旨) ・スクールパス導入後の具体的な運用について (主な意見) ・スクールパス運行にあたっては、事前に地域や就学前の家庭も含めた保護者に丁寧に周知すること ・子どもがパス内に取り残されること等がないよう、継続的かつ安全な運行を確保する環境、体制を整えること	主な意見を踏まえながら、提案の趣旨に沿って、取り組みを進めること。	教育委員会事務局 学校教育課
4	午前7時からの小学校見守り事業について	令和6年度に開始した本事業について、利用者登録をされている 保護者へのアンケート調査の結果を踏まえ、三季休業中の実施拡 充、保護者の付き添い要件の見直しなど利用しやすさの向上に向 け、提案するもの。	(議論の要旨) ・小学校見守り事業の拡充について (主な意見) ・「小1の壁」対策として子育て世帯が事業を活用しやすい方向で要件を整理し、取組を進めること ・利用者の多い学校にヒアリングなどを行い、周知方法など優良事例があれば横展開すること	主な意見を踏まえながら、提案の趣旨に沿って、取り組みを進めること。	教育委員会事務局 学校施設管理課
5	多世代交流の場を創出(みんなのサードプレイス)	2025経営戦略方針に掲げる「快適・賑わい・憩い空間づくりプロジェクト」にて、「みんなが憩う空間の創出」を推進しており、公共施設等総合管理計画では、施設間の相乗効果や空間の有効利用などを目的に施設の「複合化・多機能化」を推進している。上記を背景に介護予防センター(6施設)等を子どもから高齢者までみんなが集える多世代交流の場として発展的に利活用するもの。	(議論の要旨) ・多世代交流の場の具体的なイメージについて ・機能の再配置について (主な意見) ・多世代が交流可能な施設を実現するため、地域や関係者などの意見を丁寧に聞きながら、取組みを進めること ・本を活用した空間づくりについては、市民の学びや利便性につながる形での活用を検討すること	主な意見を踏まえながら、提案の趣旨に 沿って、取り組みを進めること。	都市経営部 経営戦略課

令和6年度(2024年度) 第3回政策会議の概要

令和6年度(2024年度)第3回政策会議の主な内容は以下のとおりです。

-	番号	案件名	内 容	議論の要旨及び主な意見	審議結果	部局名
	6	快適な移動空間の充実による子育てNo.1の実現	子ども・子育て世帯の視点に立って、快適な移動空間、利用しやすい施設づくりを進めることを目的として、・ベビーカーや自転車で子どもを送迎する保護者がこども園等の子育て施設の周辺道路を安全で快適に通行できる「こどもの安心送迎ルート」の整備・「バリアフリーチェックシステム」に子育て世帯の視点を取り入れる仕組みを拡充を提案するもの。	・「こともの安心透迎ルート」整備内容についく ・「バリアフリーチェックシステム」の運用について (注か音目)	主な意見を踏まえながら、提案の趣旨に沿って、取り組みを進めること。	都市基盤部 基盤整備課
	7	待機児童ゼロ維持に向けた令和11年度(2029年度)ま での保育定員確保方策について		(議論の要旨) ・待機児童解消、保育定員の継続的な確保について (主な意見) ・早期の待機児童解消に向けて、既存保育施設の状況を把握し、必要な地域に必要な保育定員を確保するためスピード感をもって取組みを進めること ・デジタルツール等も活用しながら、最新の保育ニーズを把握するとともに社会状況の変化を踏まえ、臨機応変に取組みを進めること	主な意見を踏まえながら、提案の趣旨に 沿って、取り組みを進めること。	こども未来部 こども政策課